

山田長政 王者の剣 (1959)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本／タイ
色彩 Color
時間 114分
初公開日 1959/05/01

【解説】

村松梢風が雑誌に掲載した小説『山田長政』を原作に「隠し砦の三悪人」の小国英雄が脚色を担当し「濡れ髪剣法」の加戸敏がメガホンをとったスペクタクル巨編。日本の大映とタイのアスピン・ピクチャー社が共同で製作した初の日タイ合作だ。

寛永二年、駿府生れの山田長政はシャム口国（後のタイ国）にいた。ビルマの大軍が国境を越えて攻め込んできたためシャム口軍が迎え撃つが、シャム口は大敗を喫して退却した。ソントム国王がお忍びで首都アユチャにある日本人町を訪れ、日本人の協力を要請した。長政は他の日本人から司令官に推挙されシャム口軍とともに出陣、ビルマ軍壊滅を成功に導いた。長政は市民権を得ると同時に、伯爵の位と親衛隊司令官の職を手に入れ、シャム口市民として活躍するのだった。

【クレジット】

監督 加戸敏
製作 バヌー・ユガラ
企画 辻久一
原作 村松梢風
脚本 小国英雄 Hideo Oguni
撮影 牧田行正
美術 上里義三
音楽 鈴木静一
出演 長谷川一夫
中田康子
根上淳
市川雷蔵
金田一敦子
浦路洋子
若尾文子